

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [名古屋市立田光中学校] 担当教諭名 [岡田 大祐] (美術部 18名)

相手国・地域 [アルゼンチン]

海外学校名 [EES 108 Dr. Danilo Luis Baroni] 担当教諭名 [Sandra Eiroa]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	美術部	アートマイルプロジェクト	50

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	SMALL ACTIONS DO GREAT THINGS
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	気候変動への具体的な対策として、10の行動に取り組みます。 (地球環境のために私たちができることは、実は身近なところにたくさんありますよ。 今すぐみんなで取り組みましょう。そして、地球の気候変動を食い止めましょう。)
日本側(向かって右側)	
全体	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・今、地球で起きていることに他人事ではなく自分事として考えることができたこと。 ・地球温暖化の抑制につながると思われるいろいろな行動や表示マークについてよく調べたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出会いの段階で学校紹介や自己紹介の動画やプレゼンを生徒自身が編集する時間がなかったこと。 ・フォーラムを生徒に開放するタイミングが遅れたため、生徒同士が英語を介して意見を出し合う場面が十分でなかったこと。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>始める前は、たいへんそうだ、ちょっとめんどくさそう、と思った生徒たちが少なくなかった。しかし、アルゼンチンの森林破壊と高温を知り、また、世界中で森林火災が発生、相次ぐ強大な台風の上陸、極端な暖冬など、リアルな気候変動を体感したことで、世界と自分とのつながりを意識するようになった。</p>	<p>農地に見える緑地が元は森林だった。違法な森林伐採が進む相手校周辺地域の様子と、苗木を植える生徒たちの様子を、現地の教師は伝えてきた。その深刻さ真剣さに心を打たれた。気候危機に対してお互いに意見交換したことを、直に生徒に伝えることで、地球半周分の距離が一気に短くなった。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	自己紹介ビデオを作り、お互いに交換しあう。	相手校の生徒たちが意外にはにかんでいる様子に安心した。簡単な英語のメッセージをビデオカメラの前で臆せずに話すことができた。	部活動 10
共有 テーマ学習	7月 8月	SDG13について特に地球温暖化のデータを名古屋・愛知について学ぶ。また、相手国で起きている気候変動とその原因について学ぶ。	相手校周辺で起きている違法な森林伐採が、上空からはパッチワークのように見えていることに気付くとともに、森林面積の減少に驚いた。	部活動 10
融合 メッセージ作成	9月 ～ 11月	どんな行動を起こせばよいかを考え、十の行動にまとめ、日本側が描く五つの行動について十分に話し合い、形にする。	部内のプレゼンでどれを採用するか真剣に話し合ったり、相手校の作品が仕上がってくる画像を見ながら自分たちのアイデアに修正を加えたりした。	部活動 10
創造 壁画制作	12月 1月	世界各地の森林火災や、秋に日本を直撃した台風15号・19号、日本における違法な森林伐採の最新情報を加えながら、壁画を描く。	到着した壁画の美しさを相手に伝えたり、こちらの下書きを修正したりした。年が明けて彩色を始め、相手校のクオリティに負けぬように頑張った。	部活動 10
評価 振り返り 自己評価	2月	出来上がった壁画を見ながら、この取り組みの前と後とで自分の変化を振り返り、相手校の先生・生徒に完成画像付きのメッセージを送る。	相手校の先生から、メッセージを送った生徒一人一人に返事が届き、この取り組みに対して充実感を持って終えることができた。	部活動 10

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてつもない 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	日本らしさがあまり描かれていなかったため、五つの行動の絵を伝統文様で囲むことで、さりげなく日本をアピールした。
異文化を理解する力	4	相手校が南北米大陸を地図の左側に描き、目をリアルに描いたこと。使う世界地図の相違と、国旗に顔があるお国柄に納得。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	フォーラムを生徒たちに開放後はまとめや発信に積極的になった。出会いの段階からフォーラムを解放していればと悔やまれる。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	Google 翻訳を使いながら、思ったことや感じたこと、考えたことなどを英語でやり取りできた。主語の大切さを痛感した。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	「この絵で通じるだろうか」「ここを変えたほうがいいのでは」など、自分たちのアイデアをより良い絵柄にするために意見を出し合った。
主体的に考え行動する力	3	フォーラムを生徒たちに開放前はやや受け身だった。出会いの段階からフォーラムを解放していればと悔やまれる。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	部員同士の会話が増え、部内の意思疎通は以前よりも活発になった。相手との協働は1年生が特に積極的だった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	壁画のアイデアをグループごとのプレゼンで発表しあったとき。伝えたいメッセージを絵に込めることができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	相手校の絵を実際に見たとき、その美しさや彩色の工夫を相手に伝えた。また、自分たちの表現に生かすことができた。